



福井の名所探訪⑦

そば畑（南越前町）

今庄の特産であるソバ。この歴史は古く、400年前から栽培が始まったといわれています。ソバの花は9月下旬頃が一番の見頃です。

理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 最善の医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 患者様の意思に反する処置・治療
- ⑤ 十分な説明を受ける権利
- ⑥ 情報開示を求める権利
- ⑦ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑧ 健康教育を受ける権利
- ⑨ 個人の尊厳を守る権利
- ⑩ 宗教的支援を受ける権利
- ⑪ 退院後も治療や福祉を受ける権利
- ⑫ より良い環境で治療を受ける権利
- ⑬ 通信・面会を自由に行う権利
- ⑭ 退院や処遇改善の請求を行う権利



すこやか講座

今回は“食事のケア”についてお知らせします。
おいしく、豊かな時間に…。

食事の支援

- ◎食事は栄養摂取のためだけではなく、一人一人にとっての楽しみや、心身の力を引き出す大事な場面です。できるだけ一緒に食事を楽しむ人を確保しましょう！
- ◎食の楽しみや豊かさを大切に、経口摂取の取り組みに力を注ぎましょう。
- ◎1食のみで判断せずに、1日～数日単位で全身状態や活動と合わせて総合的に見守りましょう。(週～月単位で体重の増減に注意)
- ◎むせ、誤嚥予防
食事への意識「自分で食べる」意欲の引き出し／いすに深く上体を安定させる座り方の確保／あごを引いて飲み込み易い首の角度や姿勢の確保／急がせずゆったりとした食事／飲み込み中の不用意な声かけ、手出しをしない／本人が見て分かり、食欲のわく＝唾液の出る献立、調理の工夫

食事のトラブルへの対応

食事摂取量低下への対応

- ◎原因やきっかけを探りましょう。それらに合わせた対応をしましょう。

原因として考えられること

身体疾患／口内トラブル／心理的ストレス／他の事に心を奪われている／食べ物であることを認識できない／食べ方を忘れている／すでに食事をしたと勘違いしている／食事の勧め方の悪さ／急激な環境の変化

過食への対応

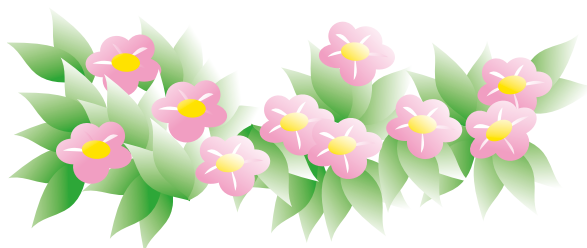
- ◎要求があれば制さずにカロリーの低いものを美味しく食べてもらいましょう。
- ◎食べたことを忘れて何回も食事を催促する場合には、食事以外に気持ちを向けるように働きかけましょう。
- ◎何もすることがないと要求が出やすいので、本人が関心をもってやれる仕事、楽しみ事をつくりましょう。
- ◎カレンダーなどに食事をしたことを記入し、一緒に確かめる方法もあります。

脱水症の予防

必要な水分量1600ml～2000ml / 日
(服薬時を含む)

※ 冬場にも脱水症には注意が必要です！※

- ◎水分を好まない時には、水分を含む本人の好むもので勧めてみましょう。
- ◎一律の時間ではなく、動いた後やその人の好むタイミングを見つけましょう。
- ◎ケアする人が一緒にお茶などを気軽に飲む場面を一日に何度も作りましょう。



家族は今…

現実を見つめて

A・U

夫が入院して早いもので、10ヶ月が経ちました。まさかと思いつつも、一応念のためと夫と二人で病院へ行きアルツハイマー型認知症と診断されて、4年になります。

夫は、現在76才。65才まで43年間勤めていた会社を定年退職し家に居るようになりましたが、地域に関わる仕事を二、三頼まれ引き受けていましたし、若いころから熱心だったゴルフにも時々出かけ決して家に引きこもる生活ではありませんでした。私も60才まで勤めていた仕事を定年退職してからは、二人で大好きな温泉めぐりを、体力のあるうちに遠い所からと北海道や東北そして九州と車を交代で運転しながら出かけました。そして、こうした生活がまだ当分続くことを疑っていませんでした。

もの忘れと、あれだけ好きだったゴルフにも行く回数が減ってきて、「年をとると駄目なぁー。球が思うように飛ばないから面白くない。」という夫の言葉をそのまま信じ、よく忘れるのも、ゴルフの関心が薄れたのも年のせいと、うかつにも思っていました。

この病気になった者が、身近に誰も居なかったこともあって、認知症をもっと早い段階で気付かなかったことに悔いが残ります。病状は徐々に進行していきましたが、特に入院する数ヶ月前からは、風呂に入ることを拒否、食べ物が目につくといくらでも食べてしまう、家中の水道栓をひねって水を出しっ放しにする、あちこちの電灯をつけてまわる等の行為に家族が振り回され、それを注意すると温厚だった夫がまるで人格が変わってしまったように腹を立てる。病気のせいだと頭では理解していても、「なんでこんなことするの!」「なんで何回言ってもわからないの!」とこちらも腹を立て、ついきつい口調で言ってしまう、そして気持ちが落ち込んでしまう。そういうことの繰り返しでした。そのうち徘徊が始まりました。よくもまあこんな遠い所までと感心するくらい遠くのほうから、胸のところに書いてある電話番号を見て知らせていただき迎えに行くことが続き、夜になって家族の気付かないうちに家を出てしまい、警察に保護をお願いするといった事も何回もあり、結局入院させていただくことになりました。

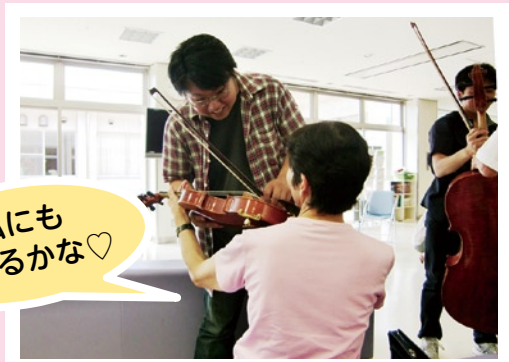
現在は、夫も落ち着いて穏やかに過ごしているようですし、スタッフの皆さんの暖かい対応をいつも目にして、こちらに入らせていただいて本当に良かったと心から感謝しております。病院で夫と並んで座っていても、会話は全くなく寂しさが胸にこみあげることもありますが、それにも大分慣れてきました。私の顔を見た時の夫の笑顔に励まされ、現実をしっかり見つめて、皆さんに助けていただきながら悔いが残らないように日々過ごしたいと思っています。

すこやか探検隊

今回は家族会活動や介護専門職研修会についてご紹介します。

家族会『すこやかかたろう会』

すこやかかたろう会は介護家族による家族会として懇談会やレクリエーションを行っています。7月の会では福井大学オーケストラ部のみなさんの演奏会や参加者が楽器に触れあう時間を設けていただきました。実際に音を出すことの難しさ、楽しさを体験しとても有意義な時間を過ごすことができました。



私にも弾けるかな♡

初めてにしては上手ですよ



「プッ、プーッ♪ ^^;」

『認知症をめぐる倫理的ジレンマ』

～倫理問題を個人の悩みにしないために～

宮崎大学医学部社会医学講座

生命・医療倫理学分野 教授 板井 孝吉郎先生

をお招きし、介護専門職の方を対象に臨床倫理に関する研修会を行いました。臨床倫理というと難しく考えてしまいますが先生のユーモアたっぷりのわかりやすいお話やグループワークで介護現場のジレンマに悩む参加者の心も少し軽くなりました。

臨床倫理研修会



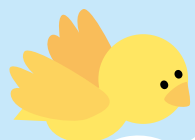
板井先生から参加者全員に日向夏キャンディをいただきました。ごちそうさまでした。

The 病棟



玉入れ大会

先日、病棟にて玉入れ大会を開催しました。最後は患者様と一緒に玉の数を数えて終わりました。紅白チームに分かれ、結果は引き分けでした。皆さん、張り切って取り組んで下さいました。



ここから届くかしら？



うまいことはいらんなあ～





認知症啓発活動



20年度より福井県内の小中学生を対象に、認知症啓発活動を行っています。



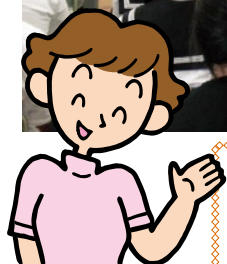
【大飯中学校】

開催日／平成23年7月12日

対 象／3年生

「もの忘れについて」、「認知症の方に接するコツ」、「脳の働きをよくするには?」、「食事で気をつけたいこと」等、お話をさせていただきました。

真剣なまなざしがとても印象的でした。大飯中学校の生徒の皆さん、先生方、ありがとうございました。



この活動は高齢者の方々をおもえる心を育て、また正しい食習慣を身につけることを目的としています。

ご希望にあわせての開催が可能です。

お電話お待ちしております！

～介護教育部～

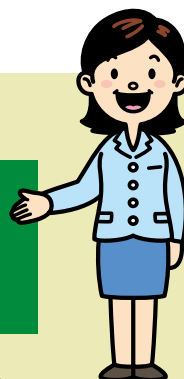
今年度の講演会

(福井県立すこやかシルバー病院定例講演会)

今年の
テーマは…

『認知症と家族支援』

～家族感情表出から見てきたこと～



みのクリニック院長 三野 善央先生

【講師紹介】昭和55年岡山大学医学部卒業。福岡大学医学部精神科で精神科研修、高知県の芸西病院勤務。昭和60年に岡山大学大学院終了後、高知医科大学助手、昭和62～63年ロンドン精神医学研究所社会精神医学部門 臨床研究員、平成3年に岡山大学助教授、平成13年より大阪府立大学人間社会学部精神保健学教授就任。平成22年、みのクリニック開院（岡山市）

〈日時〉平成23年11月3日(祝)(文化の日)

14:00～16:00

〈会場〉福井県生活学習館

(ユー・アイふくい)多目的ホール

先生ご自身の研究や、臨床経験等を通じて感じておられることについてお話していただく予定です。

申し込み方法やその他の情報は
当院ホームページまで

ご希望の方は…出来る限り事前の申し込みにご協力お願いします。

みなさまのご参加お待ちしております



つぶやき

きんもくせい 金木犀

散歩していると何処からともなく良い匂いが流れてきます。花は小さくて目立ちませんが今は、各家の庭に満開に咲き誇っている「金木犀」。この花木はモクセイ科モクセイ属の常緑小高木樹で(樹高4m)、中国南部が原産で江戸時代初期に渡来したといわれています。日本では「県の木、市の木」などにも、指定されています。

花言葉は「謙遜^{けんそん}・変わらぬ魅力・真実」など…。花木をじっと見ていると、橙黄色の小さな花が、葉と葉の陰から覗いているかのように見えるところから、そう呼ばれるようになったのでしょう。

秋を感じさせる花のひとつですね。



現在、そして明日の医療を考える

伊藤医療器株式会社

福井市大宮4丁目11-5 TEL 0776-21-6100

総合電気設備・電気通信設備・空調設備
 **三崎屋電工株式会社**
代表取締役 河上 淳一



本 店 福井市大森町40-5-2 TEL(0776)98-3388 販(0776)98-3149
Web <http://www.misakiyadenko.co.jp> E-mail office@misakiyadenko.co.jp

天井ファンによる冷暖房環境向上と
省エネルギーを実現するシステム



平成13年省エネ大賞(省エネルギーセンター会長賞)受賞

ECOSYSTEM
エコシルフィ
福井県総代理店



平成23年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般住民や介護家族、介護の専門職を対象にした介護研修会です。



講義



演習

一般の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	高齢者に関する制度と相談窓口	10月22日(土)	午前10時～午後12時10分 (午前9時30分から受付)	●介護保険制度について ●困った時の相談窓口	50名
2	認知症を予防しよう！	10月29日(土)		●認知症予防の基礎知識と食事 ●心も体も元気にしよう	50名

外来患者様・ご家族様の研修

※こちらの研修には定員はありません

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容
3	知っておきたい認知症の疾患と介護方法 ※同じ内容の研修を2回開催	11月4日(金) 3月2日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	●認知症の症状・分類・治療についてと在宅でのかわりのポイントについて解説する
4	知って得する社会保障制度 ※同じ内容の研修を2回開催	11月11日(金) 3月9日(金)		●介護保険をはじめとする高齢者福祉制度についてわかりやすく解説する
5	介護経験者が語る認知症介護 ※同じ内容の研修を2回開催	11月18日(金) 3月16日(金)		●介護の先輩から介護経験を聴く ●家族会の役割や活動について紹介する
6	認知症専門医に聞いてみよう ※同じ内容の研修を2回開催	11月25日(金) 3月23日(金)		●認知症に関する疑問、悩みなど専門医に質問しアドバイスを受ける

ケア専門職の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
7	高齢者を理解するために	11月8日(火)	午前9時30分～午後4時50分 (午前9時から受付)	●高齢者の心と体の特徴を講義、疑似体験を通して解説する	50名
8	認知症の理解とケア	11月22日(火)	午前10時～午後5時 (午前9時30分から受付)	●脳の働きや認知症の病態について解説する ●基本的認知症ケアについて解説する	50名
9	高齢者に関する制度と家族支援	11月29日(火)	午前9時30分～午前11時40分 (午前9時から受付)	●介護保険制度や認知症専門外来の活用について解説する	50名

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

＜ 研修に関するお問い合わせ ＞

No. 1 ～ 2 の研修案内は、新聞等にも掲載いたします。
ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

研修に関するお問い合わせは TEL (0776) 98-2700 介護教育部まで